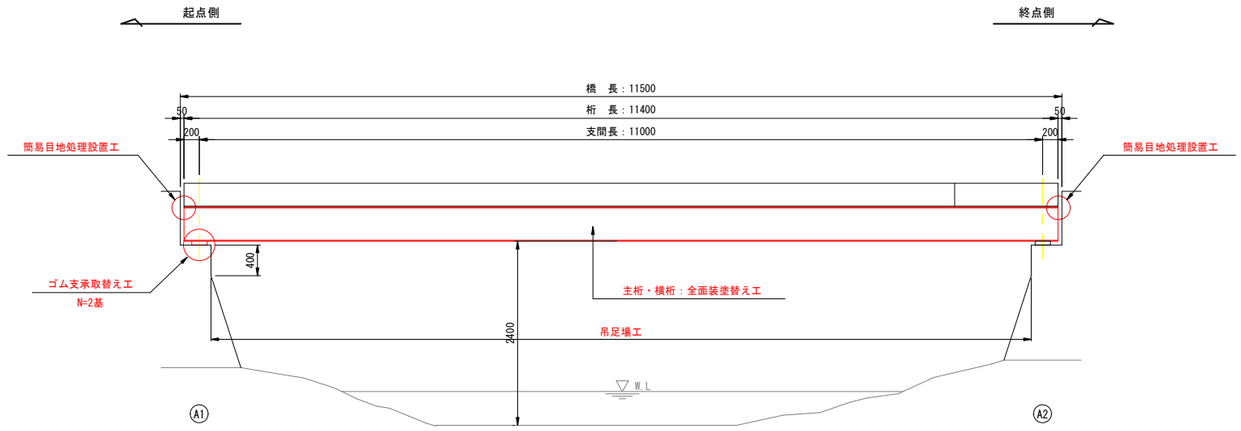
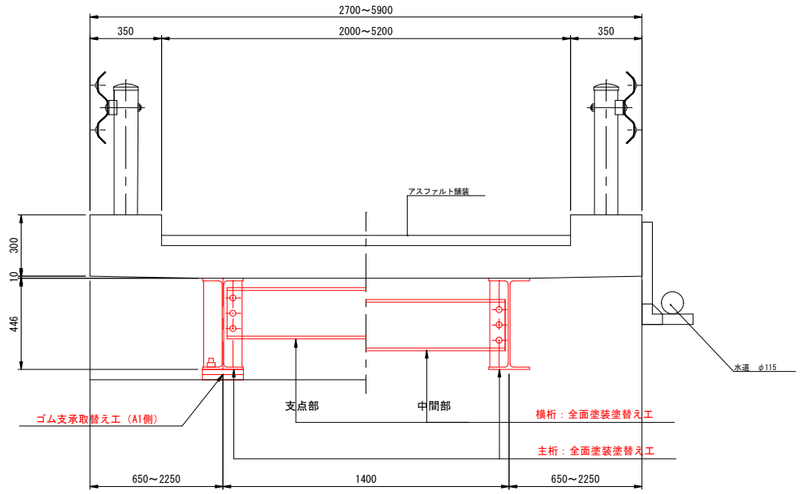
中組橋 補修計画一般図

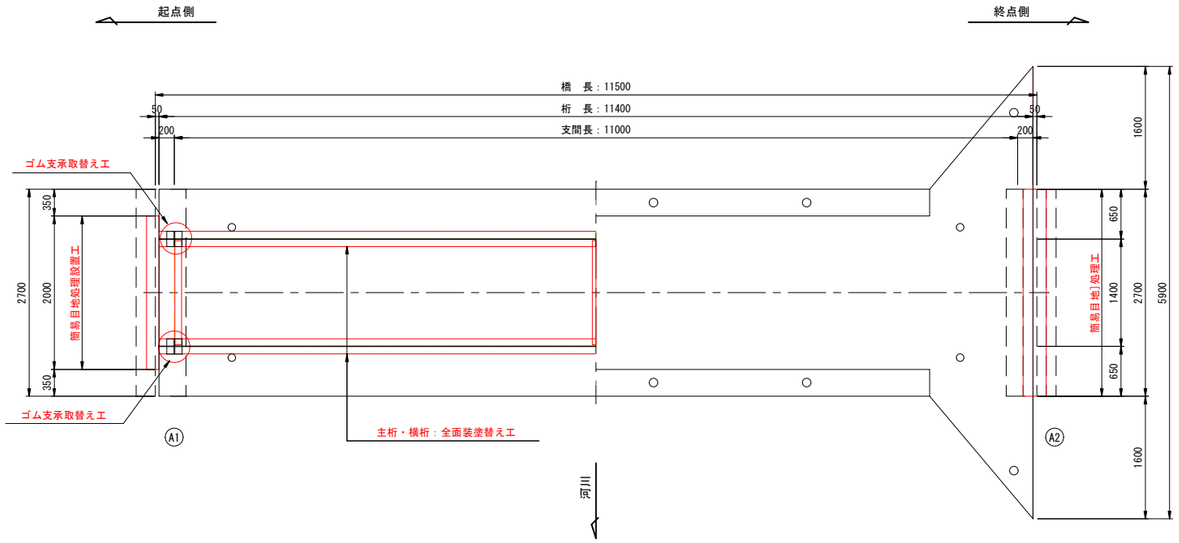
側面図　S=1:40



断面図　S=1:15



平面図　S=1:40



中組橋　補修計画

部　位	対象部材	補修工および補修内容
上部工	主桁・横桁	塗替え塗装工（Ｒｃ-1系）
支承部	支承本体	ゴム支承取替え工（N=2基）
路面	伸縮装置	簡易目地処理設置工（クラック抑制工法）

橋　梁　諸　元	
橋梁名	中組橋　（なかぐみばし）
路線名	元常中組線
橋　長	11.5m
桁　長	11.4m
全幅員	2.7～5.9m
有効幅員	2.0～5.2m
上部工形式	H型鋼
下部工形式	橋台：重力式橋台(2基)
活荷重	不明
適用示方書	不明
架設年次	1976年（昭和51年）

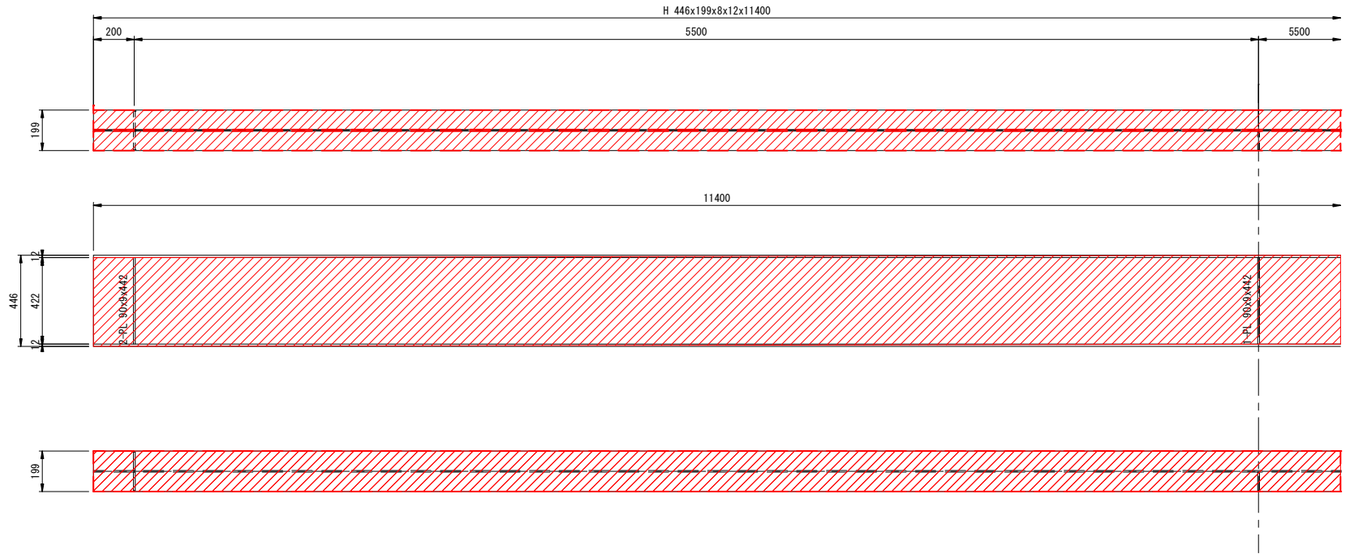
注記
1）形状は竣工図面及び、現地計測による。

工事名	市道元常中組線(中組橋）橋梁補修工事		
図面名	補修計画一般図		
縮　尺	図示	図面番号	1 / 6
事業者名	庄　原　市		

中組橋 塗装塗替え工補修図

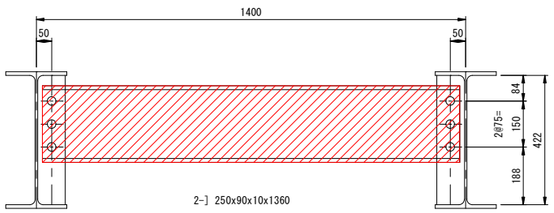
凡 例	
調査範囲	
塗装塗替え範囲	

主 桁　S=1:15

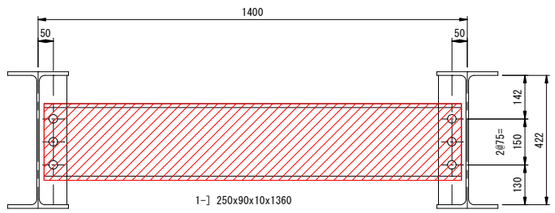


横 桁　S=1:10

支点部

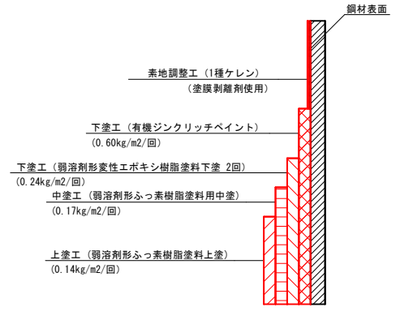


中間部



塗装塗替え工

（Rc-1系）



塗装仕様Rc-Ⅰ　塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量(g/m2)	標準膜厚(μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剥離剤（1回：ＥＰＰ工法）	はけ塗り	500		
素地調整	1種ケレン(ブラスト面形成道具)				4時間以内
下　塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日～10日
中　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日～10日
上　塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗替え工	塗膜剥離剤+R種　塗装系

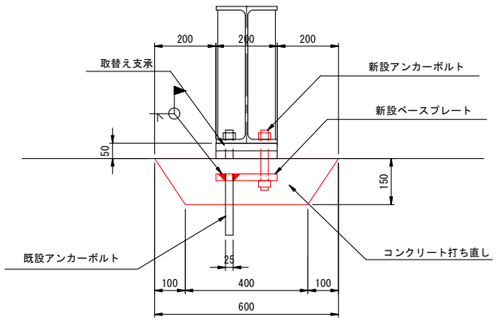
注記）
1. 本図面は、竣工図や既存資料より復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 鉛作業の安全性を考慮し塗膜剥離剤で塗膜を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
4. 塗膜剥離剤は１回を想定しているが、現地塗装と剥離剤との相性があるため、施工時には試験施工を行い、採用する剥離剤と回数を決定すること。
5. 部材エッジ部は規定塗膜厚を確保するため面取り加工(R=2mm以上)が望ましい。

工 事 名	市道元常中組線(中組橋) 橋梁補修工事		
図 面 名	中組橋 塗装塗替え工補修図		
縮　尺	図 示	図面番号	2 / 6
事業者名	庄　原　市		

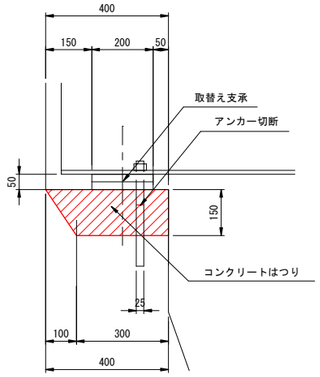
中組橋 支承取替え図（その１）

沓座はつり要領図　　S=1:10

正面図



断面図

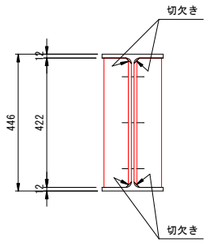


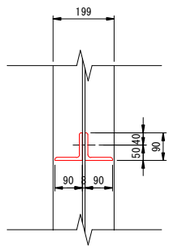
注記
1）既設の沓座補強鉄筋は存置すること。

仮受けジャッキ位置の主桁補強図　　S=1:10

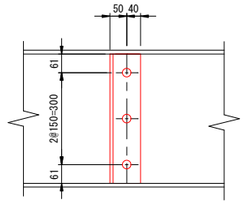
N=2箇所

正面図





側面図



2-L 90×90×10×422（SS400）
3-TCB M22×70（F8T相当）

注記
1）既設桁接合面は下地処理を行うこと。
2）ジャッキ位置の主桁補強は、支承取替え後は存置する。
3）形鋼および高力ボルトは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
4）亜鉛の付着量は、形鋼はHDZ55、ボルト・ナットはHDZ35とする。

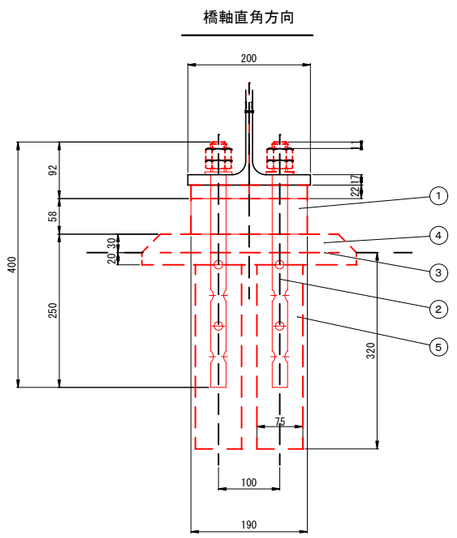
材　料　表

	名　称	寸　法	材　質	単位	数量 Mov	数量 Fix	数量 合計	備　考
①	ＳＲ沓	１９０ｘ２７０ｘ５８	図　示	枚	2		2	Ｇｅ＝０．８Ｎ／ｍｍ２
②	アンカーボルト	φ２５ｘ４００	Ｓ３５ＣＮ	組	4		4	ナット・ワッシャー含む
3	補強格子鉄筋	３００ｘ３５０	ＳＤ３４５	ｋｇ	4．4			Ｄ１０
4	沓座モルタル		無収縮モルタル	ｍ３				
5	アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	ｍ３				

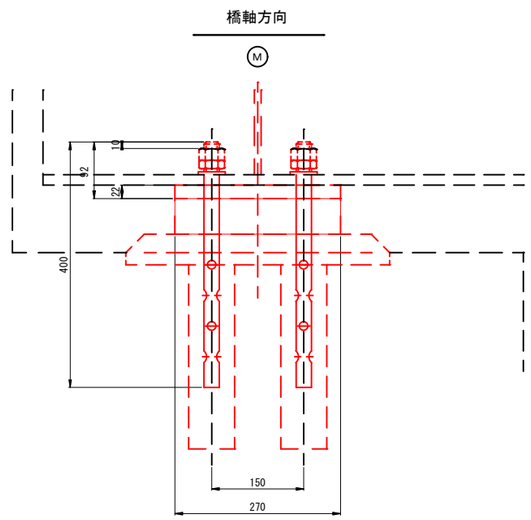
注）１．　○印は、ＳＴ－ＳＧ仕様とする。
注）２．　質量は参考質量とする。

ゴム支承詳細図　　S=1:5

橋軸直角方向



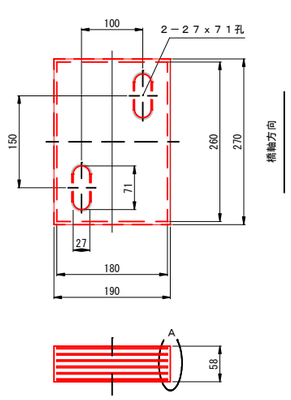
橋軸方向



（可動）

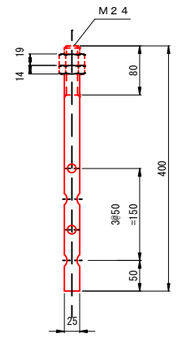
① ゴ ム 支 承（CR＋SS４００）

＜ＳＲ２００＞



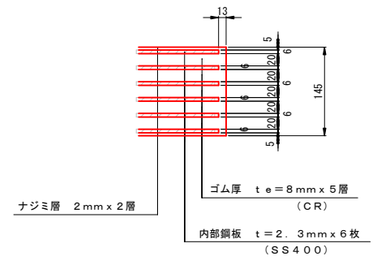
② アンカーボルト・ナット・ワッシャー（Ｓ３５ＣＮ）





平座金　１０Ｈ又は１４Ｈ
注）　（　）内は固定側を示す。

Ａ部詳細図　　Ｓ＝１：２

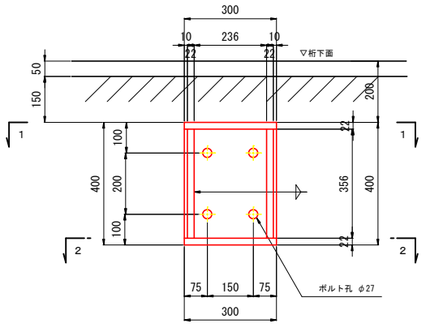


工事名	市道元常中組線（中組橋）橋梁補修工事
図面名	中組橋 支承取替え図（その１）
縮尺	図示
図面番号	3 / 6
事業者名	庄　原　市

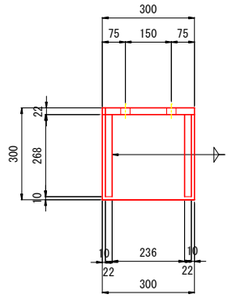
中組橋 支承取替え図（その２）

桁受ブラケット詳細図　S=1:10

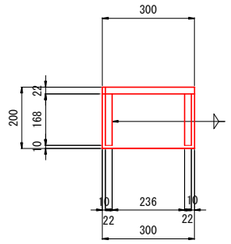
正面図



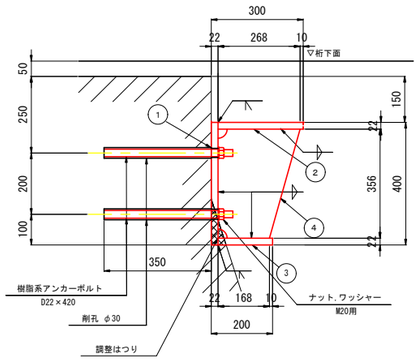
1 － 1



2 － 2



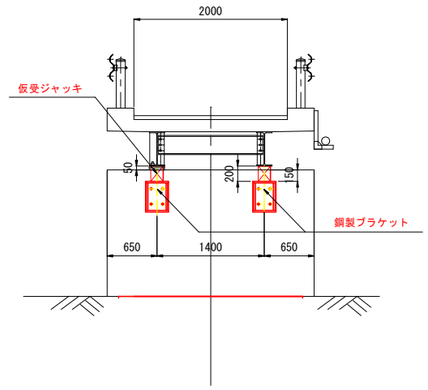
断面図



ブラケット	（一ケ所当り）
①	1- PL 300×400×22 (SM400)
②	1- PL 278×300×22 (SM400)
③	1- PL 178×300×22 (SM400)
④	2- PL 268/168×356×22 (SM400)
	4- NW M20用

※部材はすべて溶融亜鉛メッキ処理とする。

断面図　S=1:40



注記
1)仮受けジャッキは転用とする。

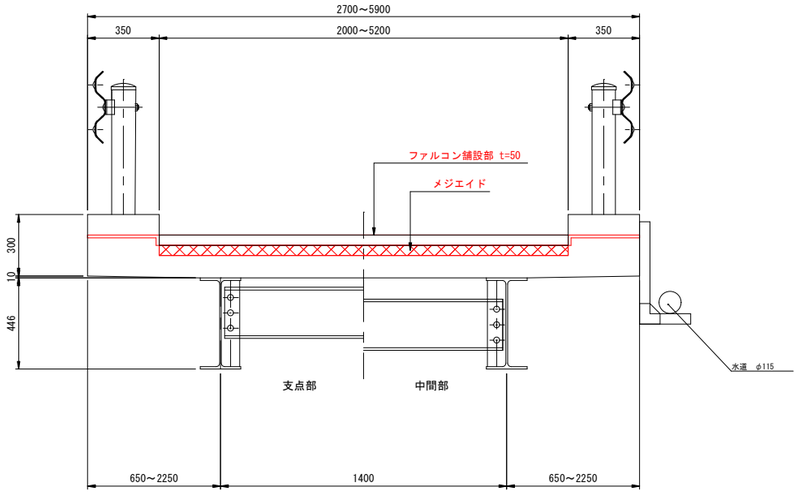
支承取替え工程(案)

補修用足場の設置
⇩
近接調査計測工
⇩
仮受けジャッキ位置の主桁補強材・鋼製ブラケット製作
⇩
鋼製ブラケットの設置
⇩
仮受けジャッキ位置の主桁のﾎﾞﾙﾄ孔明・設置
⇩
反力受替え(ジャッキアップ)
⇩
沓座コンクリートのはつり
⇩
既設支承撤去(ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ含む)
⇩
新設ゴム支承設置
⇩
沓座型枠組立
⇩
沓座コンクリート打設・養生
⇩
沓座型枠撤去・仕上げ
⇩
反力受替え(ジャッキダウン)
⇩
鋼製ブラケット残置
⇩
補修用足場の撤去
⇩
完　了

工事名	市道元常中組線(中組橋) 橋梁補修工事		
図面名	中組橋 支承取替え図（その２）		
縮尺	図示	図面番号	4 / 6
事業者名	庄原市		

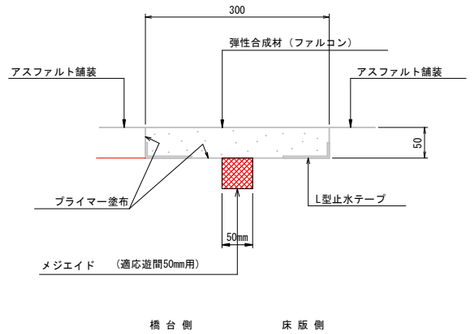
中組橋 伸縮部補修図

断面図　S=1:15



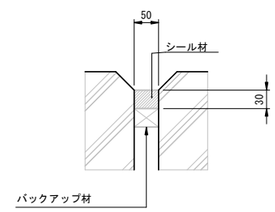
簡易目地処理工断面図　S=1:5

（クラック抑制工法）

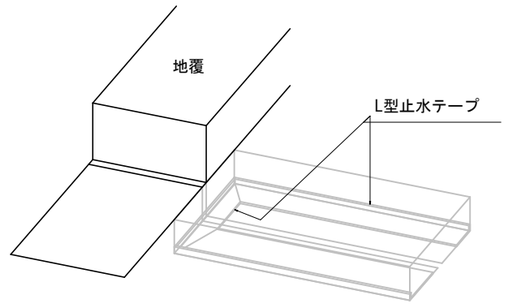


注1）仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2）ファルコン舗設箱抜部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
注3）ファルコンを舗設する際には、L型止水テープを使用すること。
注4）L型止水テープは施工箇所を囲むようにファルコン舗設幅分も設置すること。
注5）既設伸縮装置はノージョイントを想定。

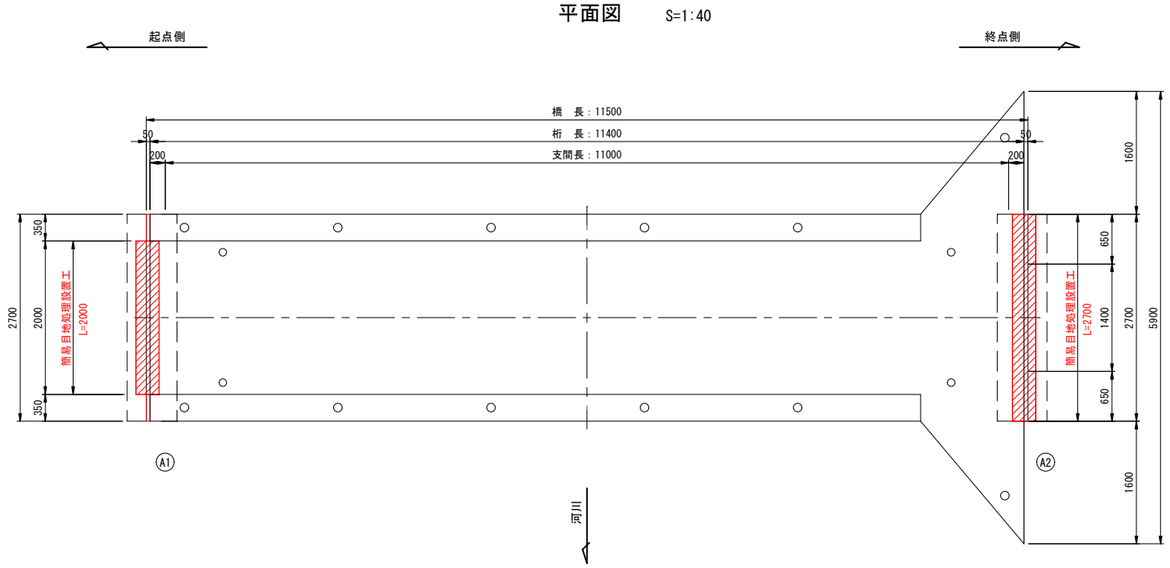
地覆部断面図　S=1:5



施工境界部イメージ図



平面図　S=1:40

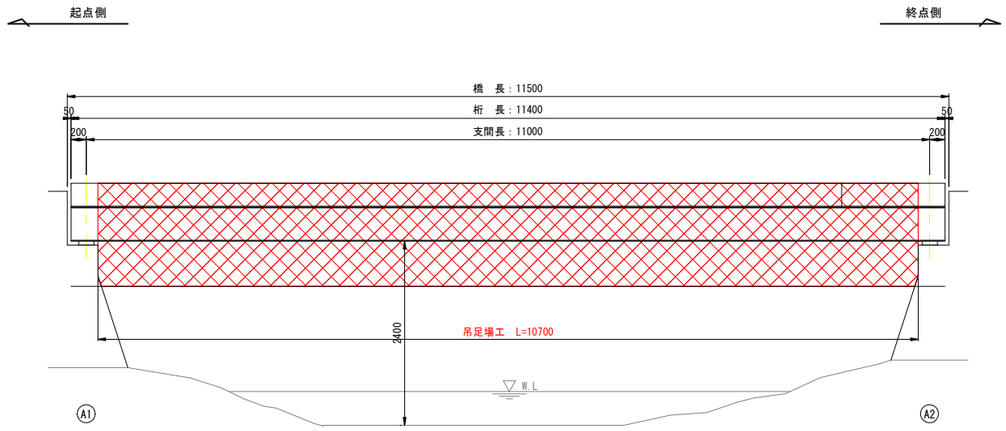


注記
1）形状は竣工図面及び、現地計測による。

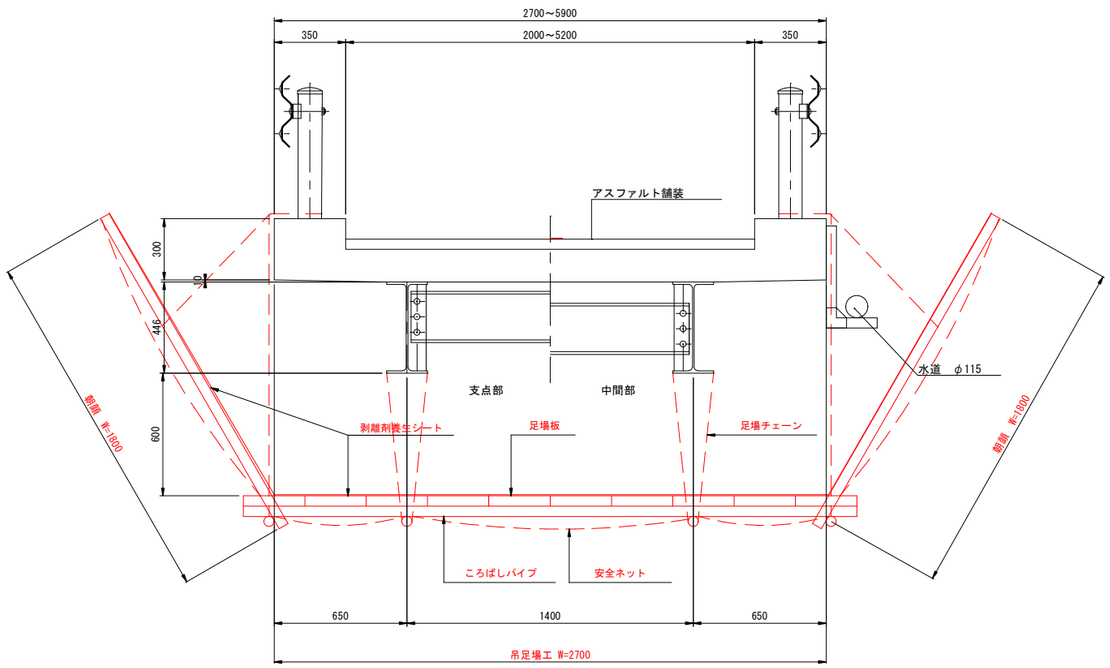
工事名	市道元常中組線（中組橋）橋梁補修工事		
図面名	中組橋 伸縮部補修図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 6
事業者名	庄原市		

中組橋 仮設図

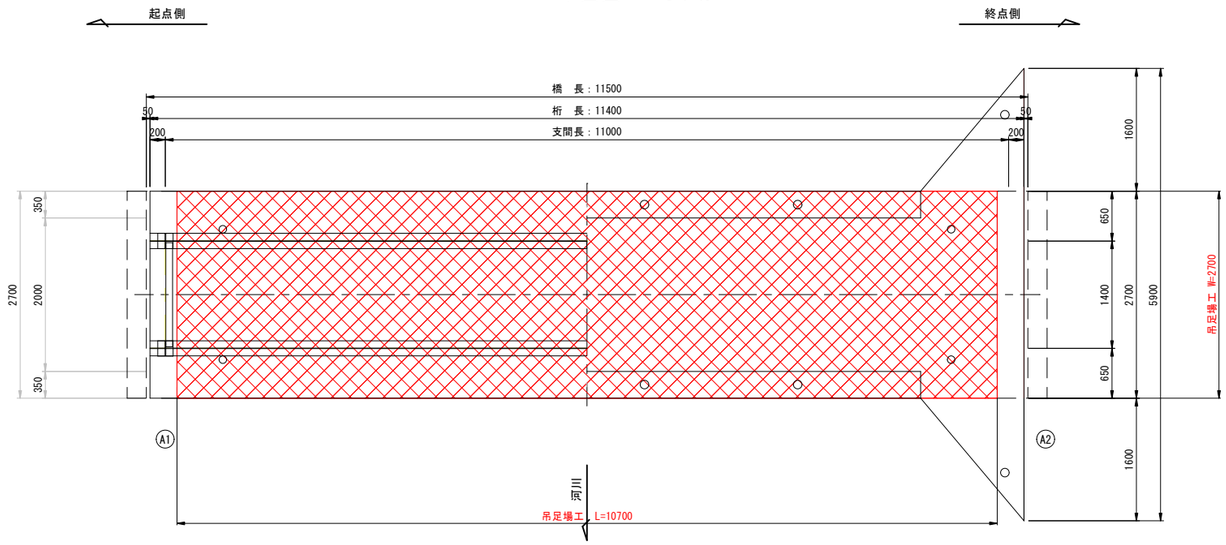
側面図　S=1:40



断面図　S=1:15



平面図　S=1:40



注記
1）形状は竣工図面及び、現地計測による。

工事名	市道元常中組線（中組橋）橋梁補修工事		
図面名	中組橋 仮設図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 6
事業者名	庄原市		